平成28年度（2016 年度）

首都大学東京
大学院都市環境科学研究科
【博士後期課程】

秋季入学学生募集要項

（入学日　平成 28 年 10 月 1 日）

地 理 環 境 科 学 域

都 市 基 盤 環 境 学 域

建　　築　　学　　域

都 市 システム科 学 域

分 子 応 用 化 学 域

観　光　科　学　域

首都大学東京　南大沢キャンパス

都市環境科学研究科の教育研究上の目的

都市環境科学研究科博士後期課程は、豊かで美しい都市環境の下に持続的に発展し得る都市を構築する為の科学体系としての都市環境科学を教授研究し、都市環境を構成する人間、物質、エネルギー、情報、人工物、自然の各要素について、その存在密度や状態の空間的・時間的変化の観測と解析を基礎に、各要素間の相互作用を解明する能力を培い、任意の空間・時間における各要素の予測・設計・制御が可能となる方法論を究理し得る先導的な研究者及び高度技術者を養成することを目的とする。

（首都大学東京大学院学則第７条の５第２項）

目　次

〈全学域共通事項〉
1　募集人員 …… 1
2　指導教員及び研究分野…… 1
3　出願資格 …… 5
4　出願資格審査(修士の学位を取得していない方・留学生等)…… 5
5　事前協議（身体に障がいがある方） …… 7
6　出願手続書類 …… 7
7　個人情報の取扱いについて …… 9
8　入学考査料の振込について …… 10
9　入学手続、入学料及び授業料等 …… 11
10　過去に出題された問題の閲覧及び入手方法について …… 11
11　長期履修制度について …… 11

〈学域別試験日程、注意事項等〉
○地理環境科学域 …… 13
○都市基盤環境学域 …… 13
○建築学域 …… 13
○都市システム科学域 …… 14
○分子応用化学域 …… 14
○観光科学域 …… 15

【提出書類】－本冊子に綴じ込み－
① 大学院都市環境科学研究科入学願書（博士後期課程）
② 受験票・机上票・入学志願者写真票
③ 入学考査料証明書貼付用台紙
④ (外国籍の方のみ)外国人学生（博士後期課程）入学志願者調査書
⑤ (A) （地理環境科学域のみ） 研究計画書
(B) （都市システム科学域のみ） 口頭試問面接票
(C) （都市システム科学域のみ） 研究希望調書
(D) （都市システム科学域のみ） 修士論文又はこれに代わる研究論文の概要（その１・その２）
⑥ (該当者のみ)長期履修申請書
⑦ 出願書類提出用封筒（角形２号）
⑧ 受験票送付用封筒（長形３号）

1　募集人員

学　　域　　名	募　集　人　員
地理環境科学域 都市基盤環境学域 建築学域 都市システム科学域 分子応用化学域 観光科学域	各学域 若干名

※都市環境科学研究科では、複数学域への併願は認めません。
※筆記試験免除制度の詳細は、各学域にお問い合わせください。

2　指導教員及び研究分野

(1)　●印は平成 29 年 3 月に、☆印は平成 30 年 3 月に、★は平成 31 年 3 月に定年退職予定の教員です。
(2)　右端の 101、102・・・の数字は、入学願書の志望分野欄に記入するコードです。
(3)　＊印は併任教員です。

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
地理環境科学域	地形・地質学	教　　授　鈴木　毅彦 准 教 授　白井　正明	地形学、第四紀学、火山灰層序学、地震地質学、堆積学	101
	気候学	教　　授　松本　淳 教　　授　高橋　日出男	気候変動解析、都市気候学、モンスーン気候学、気候環境論	102
	環境地理学	教　　授　渡邊　眞紀子 准 教 授　川東　正幸	土壌地理学、地圏生態環境、農業・森林生態系の物質循環、環境動態解析、環境保全・修復	103
	地理情報学	教　　授　松山　洋	自然地理情報解析（GIS)、数理地理モデリング、リモートセンシング	104
	都市・人文地理学	教　　授　若林　芳樹 准 教 授　滝波　章弘 准 教 授　矢部　直人	計量地理学、社会経済地理学、都市地理学、行動地理学、文化地理学、GIS	105

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
都市基盤環境学域	社会基盤	教　授　　村越　潤	構造工学、橋梁工学、既設構造物の耐荷性・耐久性評価、補修・補強	201
		教　授　　小根山　裕之	交通工学、交通計画、交通環境、交通シミュレーション、交通ネットワーク解析	202
		准教授　　石倉　智樹	都市・地域・国土計画、社会資本政策、マクロ経済動学、空間経済分析、応用一般均衡分析	203
		准教授　　中村　一史	構造工学、橋梁工学、ケーブルを用いた合理化橋梁、インフラ構造物への新素材の適用、既設構造物の補修・補強	204
	環境システム	教　授　　梅山　元彦	非線形海洋波動論、波と流れの相互作用、湖沼および内湾の流動シミュレーション	205
		教　授　　河村　明	水文現象の予測と制御、都市型水害、アジアの水資源問題、都市防災、河川水文学、水循環工学、環境低負荷トイレ	206
		教　授　　稲員とよの●	水処理プロセス、リサイクルシステム、都市環境評価と維持管理計画、時系列解析	–
		准教授　　横山　勝英	環境水理学、河口域の土砂動態と地形形成、ダム貯水池や内湾の水理・水質	207
		准教授　　荒井　康裕	上水道システム、並びに廃棄物処理・資源循環に関する計画論的な研究	208
	安全防災	教　授　　西村　和夫☆	都市・山岳部の地下空間構造物と地盤の静的安定・支保構造解析、地下構造物の地震時挙動の解析	209
		教　授　　宇治　公隆	コンクリート構造物の信頼性施工、フレッシュコンクリートの流動性、鉄筋コンクリートの耐久性、補修・補強	210
		准教授　　吉嶺　充俊	土質力学、土質実験、地盤の液状化、斜面・盛り土の安定問題、土質動力学、土砂の移動と堆積	211
		准教授　　上野　敦	コンクリート工学、環境に貢献するコンクリート、コンクリート用材料の特性評価と応用	212
		准教授　　小田　義也	物理探査、主に地震波を用いた地下構造探査手法の開発と適用、弾性波モデリング、地震動予測、都市防災	213

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
建築学域	建築計画・都市計画	教　授　　吉川　徹	都市解析、土地利用計画、公共施設最適配置、都市空間解析	301
		教　授　　竹宮　健司	地域公共施設計画、高齢者福祉施設、地域生活支援施設、環境行動研究	302
		准教授　　鳥海　基樹	都市計画・設計、景観計画・設計、都市／自然論・史、歴史的環境保全	303
	建築歴史・意匠	教　授　　小林　克弘	建築設計、建築デザイン理論、建築構成手法、近現代建築論、西洋建築史	304
		教　授　　山田　幸正★	日本建築史、東洋建築史、都市史、歴史的環境、イスラーム建築、民家	305
		教　授　　小泉　雅生	建築設計、住宅計画、意匠設計、設計論	306
	建築生産	教　授　　橘高　義典	建築材料施工、リサイクル材料設計、建物のエイジング、高性能コンクリート	307
		教　授　　角田　誠	建築生産、資源問題、リユース・リサイクルシステム、長期耐用設計計画、ストック再生計画	308
		准教授　　権藤　智之	建築構法、在来構法の変遷、地域の住宅生産、プレハブ住宅史	309
	建築構造	教　授　　北山　和宏	鉄筋コンクリート構造の理論、耐震構造およびその力学特性の解明	310
		准教授　　高木　次郎	構造設計、鋼構造、構造システム開発	311
		准教授　　多幾山　法子	木質構造、建築振動学、建築保全再生学	312
		准教授　　壁谷澤　寿一	耐津波設計，鉄筋コンクリート構造，基礎と地盤の相互作用	313
	建築環境	教　授　　須永　修通	建築環境学、バイオクライマティック建築・デザイン（環境共生建築）、省エネルギー、人体の温熱快適性	314
		教　授　　永田　明寛	建築環境学、熱・湿気環境、建築伝熱解析、建築環境の制御と同定	315
		准教授　　一ノ瀬　雅之	建築設備、都市・建築環境、建築設備システム開発・検証	316

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
都市システム科学域	都市情報･空間システム系	教　授　　玉川　英則	都市・地域解析、地理情報システム、都市・地域計画、計画情報管理	401
		教　授　　伊藤　史子	都市・地域・環境・社会資本整備の経済評価、都市・地域解析、住宅需給構造分析	402
		准教授　　市古　太郎	都市防災学、災害復興史、災害リスク評価、コミュニティ防災、安全安心科学	403
	都市情報･空間システム系（他学域を併任）	教　授　　小根山　裕之＊	交通工学、交通環境、交通計画、交通流シミュレーション	404
		未　定	（平成 28 年度は募集しない）	－
		未　定	（平成 28 年度は募集しない）	－
	都市人間･社会システム系	准教授　　杉原　陽子	健康社会学、高齢者福祉、公衆衛生学、健康の社会的決定要因、地域包括ケアシステム	405
		准教授　　饗庭　伸	都市計画・デザイン、市民参加・協働まちづくり、ワークショップ手法、アジアのまちづくり、NPO/NGO 論	406
		准教授　　山本　薫子	都市社会学、コミュニティ論、インナーエリア、フィールドワークによる都市調査	407
		准教授　　長野　基	都市行政、都市政策、ローカル・ガバナンス、行政評価、分権型社会、比較地方自治	408

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
分子応用化学域	先端機能物質分野	教　授　川上　浩良 准教授　朝山　章一郎 准教授　山登　正文	高分子分離膜、高分子形燃料電池、ナノファイバー、高分子に基づくバイオミメティック、バイオマテリアル、ドラッグデリバリーシステム、エピジェネティクス工学、高分子高次構造制御、外部場物性制御	501
		教　授　益田　秀樹 准教授　柳下　崇 准教授　武井　孝	電気化学プロセスによるナノ規則構造の形成、精密ろ過フィルター、エネルギーデバイス、高密度記録材料、光デバイス、コロイド・界面化学	502
	先端物質デザイン分野	准教授　瀬高　渉	機能性分子の開発、特に分子機械やナノセンシングデバイスの設計、合成および機能評価	503
		教　授　春田　正毅☆	触媒化学、金ナノ粒子、金クラスター、グリーンケミストリー、金ナノ粒子と生体との相互作用	510
	エネルギーデバイス分野	教　授　金村　聖志 准教授　梶原　浩一	ナノ構造材料に基づく高性能二次電池、マイクロ燃料電池、高効率エネルギー蓄積デバイス、光・電子機能セラミックス・ガラス、深紫外光学材料	504
	環境分子化学分野	教　授　高木　慎介	ナノ構造化学、光化学、再生可能エネルギー、人工光合成、ナノ機能性色素材料、粘土鉱物、無機/有機複合体	505
		教　授　山口　素夫☆ 准教授　佐藤　潔	環境調和型酸化触媒、機能性金属錯体、有機－無機複合材料、縮合多環芳香族複素環の合成、アニオンレセプター、クロミック色素、イオン性有機機能材料	506
	分子計測化学分野	教　授　内山　一美 准教授　中嶋　秀 准教授　加藤　俊吾	マイクロ化学分析、バイオアナリシス、微小化学反応場の構築、環境分析機器開発、インクジェット、原子発光検出、SPR、有機 EL、大気化学	507
		教　授　久保　由治 准教授　ジェイコブ ヤンムリアナ	化学センサー、太陽電池用色素、無機/高分子ハイブリッド 錯体化学、有機･無機複合体、水分解光触媒、熱電変換型バッテリー	508
	環境調和化学分野	教　授　宍戸　哲也	環境浄化触媒、環境に負荷をかけない高効率物質変換システム、エネルギー変換触媒	509
		教　授　立花　宏	光化学プロセス、計算化学、化学・情報教育	－

学域	分野	指導教員	研究内容	コード
観光科学域	観光科学	教　授　清水　哲夫 教　授　川原　晋 准教授　岡村　祐	文化ツーリズム学、観光まちづくり、都市計画、観光計画、交通学、社会基盤学、都市・地域デザイン、都市・建築史、地域・都市経営	601
		教　授　菊地　俊夫 教　授　小﨑　隆☆ 准教授　沼田　真也	自然ツーリズム学(ルーラルツーリズム､エコツーリズム、環境資源利用、環境保全）、人間と自然の共生、人文地理学、環境教育、土壌圏生態学、熱帯生物学、保全生物学	602
		准教授　直井　岳人 准教授　倉田　陽平	観光政策論、観光学原論、観光心理学、ツーリズム産業論、観光 GIS、観光情報システム、観光時空間行動解析	603

３　出願資格

(1) 修士の学位を得た者及び平成 28 年 9 月までに取得見込みの者
(2) 専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則(昭和 28 年文部省令第 9 号)第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下この項において同じ。）を得た者及び平成 28 年 9 月までに取得見込みの者
(3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 9 月までに授与される見込みの者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 9 月までに授与される見込みの者
(5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 9 月までに授与される見込みの者
(6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）（下記「＊注意」参照のこと）
(7) 本学大学院（本研究科）において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳（平成 28 年 10 月 1 日現在）に達した者

＊注意　出願資格(6)に定める「文部科学大臣の指定した者」の示す、大学院の入学に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者とは、次の要件を満たす者をいう。
(1)　大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
(2)　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

４　出願資格審査

全学域について「３　出願資格」(6)、(7)及び外国人学生として出願するには、事前の出願資格審査が必要な場合があります。また、身体に障がいを持つため受験上特別な配慮を希望する方は、事前協議（p.7「5　事前協議」）が必要です。
提出期限を過ぎての書類の提出は受け付けませんので、提出方法と受付期間に注意してください。

(1) 「３出願資格－(6)」に該当する方

①　提出書類
ア　履歴書（本研究科所定の様式）
イ　最終学歴修了証明書
ウ　最終学歴成績証明書
エ　研究業績調書（本研究科所定の様式）
オ　研究従事証明書
カ　宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形 3 号、たて 23.5 ㎝×よこ 12.0 ㎝、速達料金を含む 362 円分の切手を貼ったもの）　１枚

②　受付期間
【分子応用化学域】
平成　28 年　5 月 30 日(月)から　6 月 3 日(金)まで(　6 月　3 日必着)
【地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域】
平成　28 年　6 月 13 日(月)から　6 月　17 日(金)まで(　6 月 17 日必着)

③　提出先
首都大学東京 都市環境学部教務係（〒192-0397　東京都八王子市南大沢１－１）
＊**「書留速達」**とし、封筒（角形 2 号。A4 サイズが折らずに入る大きさ）の表面左脇に『都市環境科学研究科　博士後期課程（秋季入学）　出願資格審査申請(6)』と明記してください。

④　出願審査書類の請求方法
都市環境科学研究科ＨＰよりダウンロードするか、下記の封筒とメモを同封して、「③提出先」へ郵送等で請求してください。
・82 円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形 3 号（たて 23.5 ㎝×よこ 12.0 ㎝）の封筒
・申請者の住所、氏名、連絡先（携帯番号等）及び志望予定学域名と
「都市環境科学研究科　博士後期課程（秋季入学）　出願資格審査書類(6)請求」と明記したメモ

(2) 「３出願資格－(7)」に該当する方

① 提出書類

ア 履歴書（本研究科所定の様式）

イ 最終学歴修了証明書

ウ 最終学歴成績証明書

エ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形３号、たて 23.5 ㎝×よこ 12.0 ㎝、速達料金を含む 362 円分の切手を貼ったもの） １枚

② 受付期間

【分子応用化学域】

平成 28 年 5 月 30 日(月)から 6 月 3 日(金)まで(6 月 3 日必着)

【地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域】

平成 28 年 6 月 13 日(月)から 6 月 17 日(金)まで(6 月 17 日必着)

③ 提出先

首都大学東京 都市環境学部教務係（〒192-0397 東京都八王子市南大沢１－１）

＊**「書留速達」**とし、封筒（角形 2 号。A4 サイズが折らずに入る大きさ）の表面左脇に『都市環境科学研究科 博士後期課程（秋季入学） 出願資格審査申請(7)』と明記してください。

④ 出願審査書類の請求方法

都市環境科学研究科ＨＰよりダウンロードするか、下記の封筒とメモを同封して、「③提出先」へ郵送等で請求してください。

・82 円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形３号（たて 23.5 ㎝×よこ 12.0 ㎝）の封筒

・申請者の住所、氏名、連絡先（携帯番号等）及び志望予定学域名と「都市環境科学研究科 博士後期課程（秋季入学） 出願資格審査書類(7)請求」と明記したメモ

(3) 外国人学生（留学生）出願資格審査について

① 出願資格

ア 外国人であって、外国において、学校教育における 18 年の教育課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は修了見込みで授与される見込みの者

イ 外国人であって、外国において学校教育における 18 年の教育課程を修了していても修士の学位に相当する学位を得ていない者

ウ 外国人であって、外国において上記に準ずる学力を修得し、かつ、相当の年齢に達していると本研究科が認めた者

エ 外国人であって、学校教育の課程が 18 年に満たない外国において大学教育を修了した者で、24 歳（平成 28 年 10 月 1 日現在）に達した者

＊ 上記アのうち修了者に該当する場合は、出願資格審査を受ける必要はありません。学位記又は学位取得証明書を p.7-9 の「6 出願手続書類」の提出書類と一緒に提出してください。なお、日本語、英語表記以外は日本語訳を添付してください。

＊ 上記アの修了見込み者、イ～エに該当する場合は、出願にあたり出願資格の事前審査を受けなければなりません。

なお、資格審査の結果は申請者あてに通知します。

② 提出書類

ア 履歴書（本研究科所定の様式）

イ 研究希望調書（都市システム科学域のみ。本研究科所定の様式）

ウ 最終学歴修了（見込）証明書（コピーは無効。日本語、英語表記以外は日本語訳の文書を添付すること）

エ 最終学歴成績証明書（コピーは無効。日本語、英語表記以外は日本語訳の文書を添付すること）

オ 住民票記載事項証明書（コピーは無効。出願以前３ヶ月以内に発行されたもの）

カ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形３号、たて 23.5 ㎝×よこ 12.0 ㎝、速達料金を含む 362 円分の切手を貼ったもの） １枚

③ 受付期間

【分子応用化学域】

平成 28 年 5 月 30 日(月)から 6 月 3 日(金)まで

【地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域】

平成 28 年 6 月 13 日(月)から 6 月 17 日(金)まで

郵送による申請及び受付はできません。原則、本人が窓口へ直接提出してください。

（窓口提出ができない場合には必ず事前にご相談ください。）

受付時間は期間中 10:00～12:00　及び 14:00～17:00　です。
なお、期間外及び時間外の受付は一切できませんので注意してください。

④　提出先
首都大学東京 都市環境学部教務係（南大沢キャンパス 9 号館 2 階）

⑤　出願資格審査書類の請求方法
都市環境科学研究科ＨＰよりダウンロードするか、下記の封筒とメモを同封して、「④提出先」へ郵送等で請求してください。
・82 円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形 3 号（たて 23.5 ㎝×よこ 12.0 ㎝）の封筒
・申請者の住所、氏名、連絡先（携帯番号等）及び志望予定学域名と「都市環境科学研究科　博士後期課程（秋季入学）　外国人学生出願資格審査書類請求」と明記したメモ

5　事前協議

身体に障がいがあるため、受験及び修学に際して特別な配慮を希望する方は、事前に下記要領で申し出てください。

(1) 申出期間
【分子応用化学域】
平成　28 年　5 月　30 日(月)から　6 月　3 日(金)まで
【地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域】
平成　28 年　6 月　13 日(月)から　6 月 17 日(金)まで

(2) 申出書請求先及び申出先
首都大学東京 都市環境学部教務係（電話 042-677-1111 内線 4027）
（電話にて請求してください）受付時間は、10:00～12:00　及び 14:00～17:00　です。
＊なお、質問及び相談については上記申出期間前でも受け付けます。

6　出願手続書類（全学域・全試験共通）

出願を志望する方は、事前に志望分野の指導教員に研究題目などについて相談のうえ、出願手続をしてください。なお、出願に必要な書類は下記のとおりです。

(1) 出願書類

出　願　書　類	注　意　事　項　等
①入 学 願 書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・「志望分野」は、都市システム科学域志望者で第二志望がある場合は第二志望まで、他の学域は第一志望のみコード（p.1-4の「２ 指導教員及び研究分野」を参照」を記入してください。 （例：地理環境科学域 101～105）
②受　験　票 写　真　票 机　上　票	・本研究科所定の3連様式。各々は切り離さずに提出してください。 ・写真は、出願以前3ヶ月以内に正面、無帽、上半身を撮影したもの。 （たて4cm×よこ3cm）
③最終学歴成績証明書 ④博士前期課程(修士課程)修了見込証明書又は修了証明書	・出身大学の学長又は学部長が作成したもの。 ・首都大学東京在学生は提出不要。 ・外国の学校又は機関等が作成し、日本語、英語表記以外で発行されたものは日本語訳を添付してください。
⑤入学考査料	30,000円 ※出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学考査料は返還しません。 ※首都大学東京大学院博士前期課程（専門職学位課程を含む）を平成28年3月以降修了した方又は平成28年9月修了見込の方については免除となります。 ［振込依頼書による支払の場合］ 本学所定の「振込依頼書」で銀行にて払込（＊p.10-11「８ 入学考査料の振込について」を参照）のうえ、取扱銀行収納印の押された「振込金（兼手数料）受取書」のコピーを入学考査料証明書貼付用台紙の所定欄に貼ってください。「振込金（兼手数料）受取書」(原本)も一緒に提出してください。納付の確認後、返還します。 [Webによる支払（E-支払いサイト）の場合] 日本語サイトから支払った場合は、「入学検定料・選考料　取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、コピーを「入学考査料証明書貼付用台紙」に

	貼ってください。「収納証明書」(原本)も一緒に提出してください。原本は納付の確認後、返還します。(E-支払いサイトから収納証明書を印刷する場合は、2部印刷のうえ、1部を貼付、1部を同封してください)英語サイトから支払った場合は、プリントアウトした「Result page」を2部提出してください。
⑥受験票送付用封筒	本研究科所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手（速達料金含む）を貼ってください。
⑦住民票記載事項証明書等	外国籍の方のみ提出（ただし在留資格が「永住」の方は除く） 出願以前3ヶ月以内に発行されたもの。 なお、日本国内で住所が定まっていない方は、パスポートの写しを提出してください。
⑧外国人学生（博士後期課程）入学志願者調査書	本研究科所定様式。外国籍の方のみ提出。（ただし在留資格が「永住」の方は除く）
⑨留学ビザ取得・更新サポート申込書	本研究科所定様式。外国籍の方のみ提出。（ただし在留資格が「永住」の方は除く）
⑩学位記又は学位取得証明書	外国籍の方のうち、p.6-7「(3) 外国人学生（留学生）出願資格審査について」①出願資格のアのうち修了者に該当する者。外国の学校又は機関等が作成し、日本語、英語表記以外で発行されたものは、日本語訳を添付してください。
⑪「出願許可書」等の写し	出願資格審査を受けて「出願許可書」又は「受験承諾書」を交付された方はその写しを添付してください。
⑫長期履修申請書・長期履修が必要であることを証明する書類	・長期履修を希望する方のみ。 ・p.11～12「11 長期履修制度について」を参照してください。

＜学域別＞

①研究計画書	本研究科所定様式。地理環境科学域志望者のみ提出。
②口頭試問面接票	本研究科所定様式。都市システム科学域志望者のみ提出。
③研究希望調書	本研究科所定様式。都市システム科学域志望者のみ提出。
④修士論文の概要	本研究科所定様式。都市システム科学域志望者のみ提出。修士論文等の概要を、必要な図表を含めて4,000字程度にまとめる。
⑤修士論文・研究論文	都市システム科学域志望者のみ提出。博士後期課程での研究に最も関連の深い業績として、修士論文又はこれに代わる研究論文を１部提出。
⑥TOEFL、TOEIC又はIELTSスコア	都市システム科学域、観光科学域志願者のみ提出。学域別試験日程の都市システム科学域の項（p.14）、観光科学域の項（p.15）にある表下の注記を参照。入学願書の「英語試験　提出種別」欄で都市システム科学域は「TOEFL」若しくは「TOEIC」の提出する方に〇をつけてください。(IELTSは選択できません) 観光科学域は「TOEFL」、「TOEIC」、「IELTS」の中から提出するものに〇をつけてください。

現在、他大学に在籍する国費外国人留学生（大使館推薦または国内採用）で、本学への進学を希望する場合は、出願時に国費奨学金の受給証明書を提出すること。
なお本学への進学も含め、上位課程への進学の際に必要な「奨学金支給期間の延長申請」については、現所属の大学に確認すること。

〔注意事項〕
- **出願書類の「本研究科所定様式」は、本冊子に綴じ込んであります。**
- **出願書類等は、黒ボールペンで記入し、消せるボールペンでは記入しないこと。**
- **上記の出願書類を出願資格審査等で、すでに提出済みの方は提出は不要です。**
- **外国の学校又は機関等が作成した書類が日本語又は英語表記以外で作成されたものは、日本語訳を添付してください。**
- **出願書類等に不備がある場合は受け付けません（不受理となります）。**
- **受理された書類はいかなる理由があっても返却しません。**
- **入学許可後であっても受験中あるいは出願手続に不正があったと認められた場合には、入学許可を取り消します。**

(2) 出願受付期間

① 分子応用化学域
平成 28 年 6 月 27 日（月）から 7 月 4 日（月）まで（ 7 月 4 日必着）

② 地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域
平成 28 年 7 月 4 日（月）から 7 月 11 日（月）まで（ 7 月 11 日必着）

＊出願は、郵送のみ受け付けます。
＊本冊子に綴じ込んである本研究科所定の封筒を使用し、首都大学東京 都市環境学部教務係あてに必ず**「書留速達」**で送付してください。
＊出願書類は、p.7-9「6 出願手続書類」を参照してください。

(3) 受験票の送付

受理した書類を点検・確認・受理後、受験票を発送します。
① 分子応用化学域
平成 28 年 7 月 15 日（金）まで
②地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域
平成 28 年 7 月 22 日（金）まで

上記日程までに受験票がお手元に届かない場合は、首都大学東京 都市環境学部教務係へ連絡してください。（電話 042-677-1111 内線 4027）
【注意】試験当日は、必ず受験票を携帯してください。

(4) 選考日程及び試験科目

各学域のページを参照してください。

(5) 選考方法

選考は、提出された書類の審査及び本研究科が行う学力試験、面接等の結果により行います。

(6) 合格発表

①日時：平成 28 年 8 月 24 日(水) 14:00
②発表場所：首都大学東京 都市環境学部事務室前（9 号館 2 階）
首都大学東京 都市環境科学研究科ＨＰ
新着情報＆お知らせ http://www.ues.tmu.ac.jp/

【注意】電話による合否の問い合わせには応じられません。
＊なお、「合格者一覧」（受験番号のみ掲載）の送付申込を事前に受け付けます。希望する方は、試験終了後（試験期間が２日以上の場合は試験最終日の試験終了後）、362 円分の切手（速達料金を含む）を貼り、宛先に送付希望者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形 3 号、たて 23.5 ㎝×よこ 12.0 ㎝）を都市環境学部教務係へ提出してください。

(7) 合格通知書の交付

都市環境学部教務係において合格通知書等を交付します。
必ず受験票をご持参ください。
・交付期間及び時間：平成 28 年 8 月 24 日（水）14:00 ～ 17:00
〃 8 月 25 日（木）10:00 ～ 12:00、14:00 ～ 17:00
〃 8 月 26 日（金）10:00 ～ 12:00、14:00 ～ 17:00
なお、直接受け取れない方又は上記期間に受け取れない方は、都市環境学部教務係へ申し出てください。連絡がなく、9 月 16 日（金）までに取りに来ない場合には入学辞退とみなします。

7 個人情報の取扱いについて

首都大学東京では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱います。あらかじめご了承ください。
(1) 本学への受験の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学志願者選考（出願処理、選考実施及び合格発表）及び入学手続を行うために使用します。

また、入学者のみ、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために使用します。

(2)　入学志願者選考に用いた試験成績は、今後の選考方法の検討資料作成等に使用することがあります。

(3)　合格者に対して、入学意思確認等の理由で連絡することがあります。

８　入学考査料の振込について

首都大学東京大学院博士前期課程（専門職学位課程を含む）を平成28年3月以降修了した方又は平成28年9月修了見込の方については免除となります。

１　振込依頼書による支払の場合

①　募集要項に挟んである振込依頼書により銀行振込（電信扱）してください。その際の振込手数料は各自で負担してください。
　なお、「みずほ銀行」の本・支店で振込む場合、手数料はかかりません。

②　郵便局では振込できません。

③　郵便普通為替証書又は現金を入学願書に同封し納付することはできません。

④　**ＡＴＭ（現金自動預け払い機）から振込まないでください。**

⑤　振込依頼書の氏名欄には、出願者本人の氏名を記入してください。

⑥ 取扱銀行収納印の押された「振込金（兼手数料）受取書」のコピーを入学考査料証明書貼付用台紙の所定欄に貼ってください。「振込金（兼手数料）受取書」(原本)も一緒に提出してください。納付の確認後、返還します。

２　Ｗｅｂによる支払（E-支払いサイト）の場合

E-支払いサイト（https://e-shiharai.net/）へ事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー対応のＡＴＭ・ネットバンキング、クレジットカード、Alipay 国際決済（支付宝）、又は銀聯ネット決済により納付してください（日本国外から支払の場合は、クレジットカード、Alipay 国際決済（支付宝）・銀聯ネット決済のみ）。

納付方法の詳細は、別紙「首都大学東京大学院都市環境科学研究科（国内／国外からの出願）考査料払込方法」を参照してください。なお、事務手数料は各自で負担してください。

①　日本語サイトからの支払

支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り、コピーを「入学考査料証明書貼付用台紙」に貼付してください。「収納証明書」(原本)も一緒に提出してください。原本は納付の確認後、返還します。(E-支払いサイトから収納証明書を印刷する場合は、2部印刷のうえ、1部を貼付、1部を同封してください)

②　英語サイトからの支払

支払後、プリントアウトした「Result page」を２部出願書類と共に提出してください。

支払期限

分子応用化学域

　平成　28 年　6 月 27 日（月）から　7 月　4 日（月）15:00 まで

地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域

　平成　28 年　7 月 4 日（月）から　　7 月 11 日（月）15:00 まで

（注意）

E-支払いサイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくあるご質問」（https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html）を参照した上で、e-サービスサポートセンターへ問い合わせてください。

日本語サイト: https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html

英語サイト: https://e-shiharai.net/English/sss/FAQ.html

なお、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により被災された場合、入学考査料を全額免除する制度がありますので、**考査料の振込前**に、首都大学東京　都市環境学部教務係へ問い合わせてください。(電話 042-677-1111 内線 4027)

※入学考査料の返還手続案内

入学考査料を納付したが出願しなかった場合又は入学考査料を誤って二重に納付した場合などは、返還申請ができます。（ただし、返還できない場合もあります）①返還申請の理由、②振込者氏名、③現住所、④連絡先電話番号を明記した「入学考査料返還申請書」（様式自由）及び金融機関等の収納日付印のある「振込金（兼手数料）受取書」（原本【コピー不可】）、収納証明書（原本【コピー不可】）又はプリントアウトした「Result page」を同封して、下記担当へ郵送してください。折り返し必要書類を送付します。

なお、クレジットカード支払をした方がクレジットカードでの返還を希望する場合は手数料 1,540 円がかかります。手数料は各自で負担してください。

送付先：〒192-0397　東京都八王子市南大沢 1 丁目 1 番地
公立大学法人首都大学東京総務部会計管理課資金管理係
電話　042-677-1111　内線 1046

9　入学手続、入学料及び授業料等

1 入学手続

合格者には、9 月初旬(予定)に、「入学手続書類」を送付します。指定した日時までに入学料を納付し、入学手続書類を作成の上、都市環境学部教務係へ書類を送付してください。これらの手続をしないため入学の意志が確認できない場合、又は記入漏れなどがある場合は、入学を許可しないことがあります。

なお、今年度の入学手続期間は以下を予定しておりますが、変更もありますのでご注意ください。

入学手続期間（予定）･･･平成 28 年 9 月 5 日（月）から 9 月 8 日（木）まで（9 月 8 日書類必着）

2　入学料

・東京都の住民（＊）　141,000 円（予定金額）
・上記以外の方　282,000 円（予定金額）

＊「東京都の住民」とは、本人又は配偶者若しくは一親等の親族が入学の日（平成 28 年 10 月 1 日）の 1 年前（平成 27 年 10 月 1 日）から引き続き東京都内に住所を有する方をいいます。その認定は、本人が都内に在住の場合は本人の「住民票記載事項証明書」、本人以外の方の場合は、都内に在住する親族等の「住民票記載事項証明書」及び本人との親族関係を明らかにする戸籍抄本等により行います。

＊首都大学東京大学院博士前期課程(専門職学位課程を含む)を平成28年3月以降修了の方又は平成28年9月修了見込の方については免除となります。

・入学料には減免又は免除の制度があります。（ただし私費留学生は対象外）

3　授業料

年額　520,800 円（平成 27 年度現在＊）

＊入学時又は在学中に授業料の改定があった場合には、改定後の金額が適用されます。
・入学料及び授業料の納入方法等の詳細については、入学手続書類の中で説明します。
・授業料には、減額又は免除の制度があります。

4　奨学金制度

入学後、「日本学生支援機構」の奨学生に採用された方には「奨学金」が貸与されます。
また、「公立大学法人首都大学東京大学院生支援奨学金（原則返納不要）」の制度があります。

10　過去に出題された問題の閲覧及び入手方法について

志望学域・志望分野の指導教員へ問い合わせてください。

11　長期履修制度について

本学大学院では、学生が、職業を有している等の事情により標準修業年限（博士後期課程 3 年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を設けています。

入学時に長期履修を認められた学生は、標準修業年限において支払う授業料の総額を、認められた長期在学期間に分割して支払うことができます。

〈対象者〉

以下のいずれかの理由により、標準修業年限内での修業が困難な者

(1)　職業を有している者

(2)　出産、育児、介護を行う必要がある者
(3)　その他、研究科において適当と認める者

〈申請方法等〉

入試出願時に申請を行い、合格通知とともに長期履修制度の利用の可否を通知します。
以下の書類を出願時に提出してください。
(1)　長期履修申請書（本研究科所定様式）
(2)　長期履修が必要であることを証明する書類（在職証明書や母子手帳等）

なお、長期履修制度を利用せずに入学した在学生についても、職場事情の変化等の特別な事情があった場合は、中途での長期履修の申請を認め、利用を希望する年度の前年度に受け付けます。（ただし、最終年次の学生は利用することができません。）

※詳細につきましては、首都大学東京 都市環境学部教務係へ問い合わせてください。
（電話 042-677-1111 内線 4027）

<学域別試験日程・注意事項等>

（試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項）

【全学域の受験に際しての注意事項】

① 試験開始 20 分前までに定められた試験会場への入室を済ませること。

② 携帯電話、ウェアラブル端末の時計としての使用は不可。

○ 地理環境科学域

試験日程	試験科目	試験時間	配点
8月 3日(水)	外国語（英語）	9:00～10:30	120
8月 4日(木)	面接（口頭試問を含む）	9:00～	120

・面接（口頭試問を含む）

…試験を受ける年の 9 月に本学都市環境科学研究科地理環境科学域博士前期課程を修了予定の受験者に対しては、面接のなかで、博士後期課程での研究計画についての口頭発表（10 分以内）を課す。それ以外の受験者に対しては、面接のなかで、修士論文またはこれに相当する研究、および博士後期課程での研究計画についての口頭発表（10 分以内）を課す。発表方法は、レジュメ配布、PC プロジェクター使用のいずれでもよい。PC プロジェクター使用の場合、面接会場の Windows の PC に PowerPoint2010 がインストールされているので、発表原稿を入れた USB メモリを持参してもよい。なお、Mac の PC を使う場合には、USB メモリとともにパソコンも持参すること。

・秋季入学試験においては筆記試験免除の制度はない。

○ 都市基盤環境学域

試験日程	試験科目	試験時間	配点
8月 3日(水)	専門科目	9:00～10:30	50
8月 4日(木)	面接（口頭試問を含む）	10:00～	50

・専門科目…研究テーマに関する筆記試験。

・面接（口頭試問を含む）

…博士前期課程（修士課程）若しくは自分の業務における研究内容とその成果及び入学後の研究についてプロジェクターを用いて発表する。その後、発表内容について質疑応答を行う。

○ 建築学域

試験日程	試験科目	試験時間	配点
8月 3日(水)	専門科目	9:00～11:00	50
	面接（口頭試問を含む）	11:30～	50

・専門科目…外国語を含む専門分野の内容に関連する科目。筆記試験のため鉛筆とプラスチック字消しを持参すること。
なお、試験科目に関しては志望指導教員に問い合わせること。

・面接（口頭試問を含む）

…受験者は、修士論文又は最近の研究の概要（Ａ４サイズ、４～６頁程度。日本語あるいは英語)を 16 部用意し持参すること。

○ 都市システム科学域

試験日程	試験科目	試験時間	配点
8月 2日(火)	専門科目	12:30～14:30	100
8月 3日(水)	面接（口頭試問を含む）	9:30～	100
―	外国語（英語）	―	100

・面接（口頭試問を含む）
…時間については、受験者数等の都合により変動する場合があるので、前日の専門科目の際の伝達事項に十分注意すること。

・外国語（英語）
…TOEFL スコア若しくは TOEIC 公開テストのスコアの原本を提出すること。
なお、スコアは 100 点満点に換算される。

■TOEFL 公式スコアを提出する場合
下記 2 点を提出すること。
① TOEFL 実施機関（ETS）から本人宛てに送付された“Examinee’s Score Record”の写し
② TOEFL 実施機関（ETS）から本学あてに直送された“Official Score Report“

＜注意＞
・2014 年 8 月 2 日以降に受験した TOEFL スコアが有効。
・公式スコアは、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT のスコアが有効。TOEFL-CBT、TOEFL-ITP（団体テスト）は不可。
・①については試験日（8 月 2 日）に提出すること。
・②については TOEFL 実施機関（ETS）に Official Score Report を請求し、試験日（8 月 2 日）までに本学へ届くよう手続きをすること。（首都大学東京のコード番号は「7169」。）
Official Score Report の受取には１～２ヶ月かかるとされているので、よく確認の上、余裕を持って手続きをすること。

■TOEIC 公開テストのスコアを提出する場合
TOEIC のスコアを提出する受験生は、スコアの原本を試験日（8 月 2 日）に持参すること。
複写をとらせていただいた上で返却する。
＜注意＞
・2014 年 8 月 2 日以降に受験した TOEIC 公開テストが有効。
・TOEIC-TEST を対象とし、TOEIC-IP（団体テスト）は認める。
・TOEIC SW-TEST は不可。

○ 分子応用化学域

試験日程	試験科目	試験時間	配点
7 月 21 日(木)	専門科目	14:00～16:00	50
7 月 22 日(金)	面接（口頭試問を含む）	9:00～	50

・専門科目…外国語を含む専門科目。
・面接（口頭試問を含む）
…修士論文又は最近の研究成果の概要について、自分のコンピューターを持参して発表する(20 分程度)。発表内容について質疑応答を行う。

○ **観光科学域**

試　験　日　程	試　験　科　目	試　験　時　間	配　点
8月 3日(水)	小論文	9:30～11:30	100
	プレゼンテーション ・面接（口頭試問を含む）	13:00～	100
	外国語（英語）	―	100

・小論文…観光に関する質問、及び入学後の研究計画の 2 問につき、日本語又は英語で記述する。

・プレゼンテーション・面接（口頭試問を含む）
…発表時間一名あたり10～15分。修士論文あるいはそれに相当する観光に関する研究などの日本語又は英語による発表とし、方法はレジュメ配布、PowerPoint（Windowsの場合、発表原稿を格納したUSBメモリを持参のこと。Mac使用の場合、USBとともにパソコンも持参のこと）使用のいずれかまたは併用とする。
なお面接会場には Windows の PC に PowerPoint2010 がインストールされているものが用意されている。

・外国語（英語）
…**TOEFL スコア、TOEIC 公開テストのスコアの原本又は IELTS のスコア原本を提出すること。**
なお、スコアは 100 点満点に換算される。

■TOEFL 公式スコアを提出する場合
下記 2 点を提出すること。
① TOEFL 実施機関（ETS）から本人宛てに送付された“Examinee’s Score Record”の写し
② TOEFL 実施機関（ETS）から本学あてに直送された“Official Score Report“

＜注意＞
・2014 年 8 月 3 日以降に受験した TOEFL スコアが有効。
・公式スコアは、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT のスコアが有効。TOEFL-CBT、TOEFL-ITP（団体テスト）は不可。
・①については試験日（8 月 3 日)に提出すること。
・②については TOEFL 実施機関（ETS）に Official Score Report を請求し、試験日（8 月 3 日）までに本学へ届くよう手続きをすること。（首都大学東京のコード番号は「7169」。）
Official Score Report の受取には１～２ヶ月かかるとされているので、よく確認の上、余裕を持って手続きをすること。

■TOEIC 公開テストのスコアを提出する場合
TOEIC のスコアを提出する受験生は、**スコアの原本** を試験日（8 月 3 日)に持参すること。
複写をとらせていただいた上で返却する。
＜注意＞
・2014 年 8 月 3 日以降に受験した TOEIC 公開テストが有効。
・TOEIC-TEST を対象とし、TOEIC-IP（団体テスト）は認める。
・TOEIC SW-TEST は不可。

■IELTS テストのスコアを提出する場合
IELTS のスコアを提出する受験生は、**スコアの原本** を試験日（8 月 3 日）に持参すること。
複写をとらせていただいた上で返却する。
＜注意＞
・2014 年 8 月 3 日以降に受験した IELTS テストが有効。
・アカデミックモジュールのスコアが有効。
・ジェネラル・トレーニング・モジュールは不可。

出願及び入学試験に関する注意事項

1　出願書類を送付する前にもう一度記入漏れがないか確認してください。

2　出願は、本学学生、他大学の学生等を問わず郵送のみ受け付けます。

3　入学考査料は、 振込依頼書による支払の場合には本学所定の「振込依頼書」で銀行にて払込のうえ、取扱銀行収納印の押された「振込金（兼手数料）受取書」のコピーを入学考査料証明書貼付用台紙の所定欄に貼ってください。「振込金（兼手数料）受取書」（原本）も一緒に提出してください。納付の確認後、返還します。

Web による支払（E-支払いサイト）の場合には、日本語サイトから支払った場合は、「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、コピーを入学考査料証明書貼付用台紙の所定欄に貼ってください。「収納証明書」（原本）も一緒に提出してください。原本は納付の確認後、返還します。（E-支払いサイトから収納証明書を印刷する場合は、2 部印刷のうえ、1 部を貼付、1 部を同封してください）

英語サイトから支払った場合は、プリントアウトした「Result page」を 2 部提出してください。

詳しくは、p. 10-11「8 入学考査料の振込について」を参照してください。

なお、入学考査料を誤って二重に納付した場合などの返還手続きは、p. 11「※入学考査料の返還手続案内」を参照してください。

4　試験会場・面接受験者控え室等の案内は、試験当日に 11 号館前に掲示します。
（本冊子裏表紙の「南大沢キャンパス案内図」を参照してください。）

5　試験当日は、試験開始 20 分前までに定められた試験会場に入室を済ませてください。
なお、試験会場の開室は試験開始の 1 時間前からとなります。

6　試験開始後 30 分以上遅刻した場合は、受験することができません。
なお、交通機関の遅延等やむを得ない場合は、受験を許可することがあります。

7　携帯電話やウェアラブル端末を時計として使用することはできません。
なお、試験中は携帯電話等の電源を切っておいてください。

〈問い合わせ先〉

首都大学東京 都市環境学部教務係

（南大沢キャンパス 9 号館 2 階）

☎　042－677－1111（代表）　内線 4027

受付時間　9：00～17：00

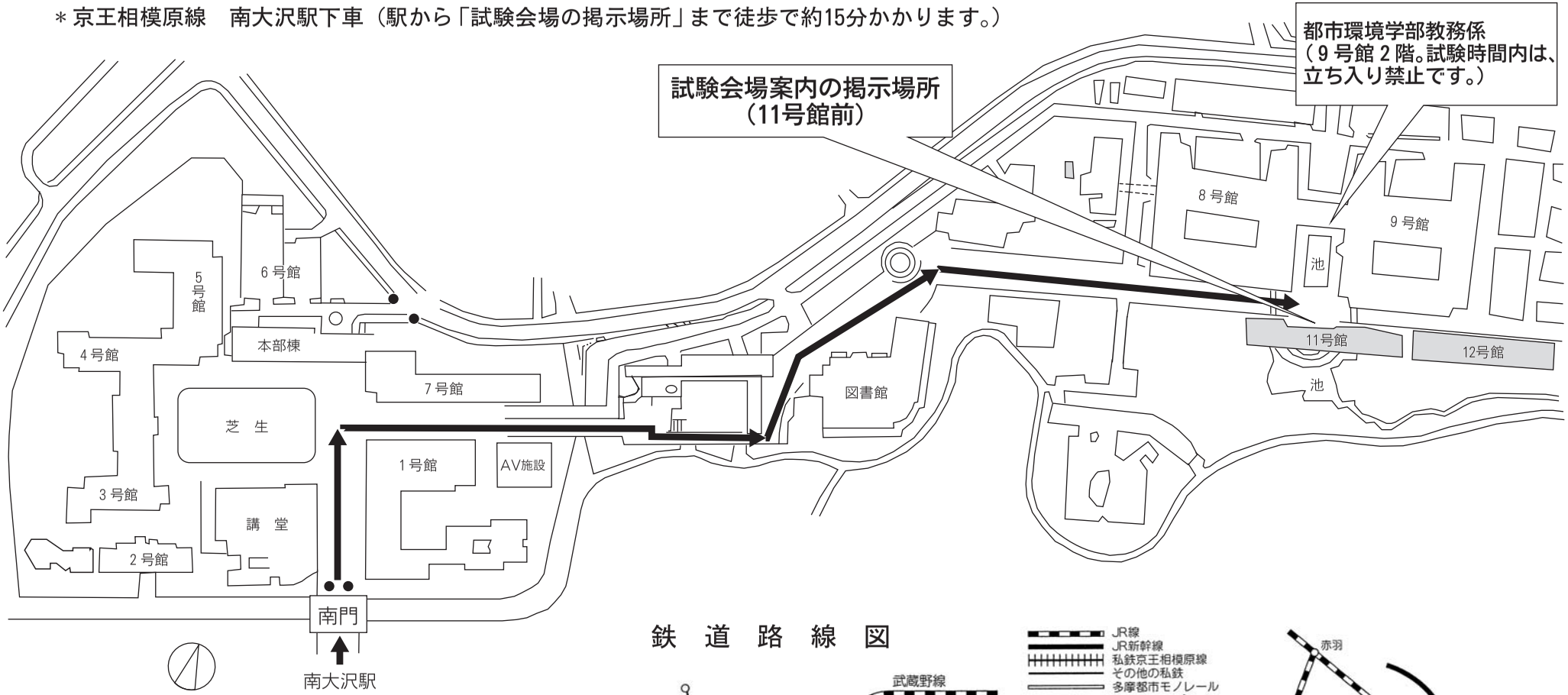
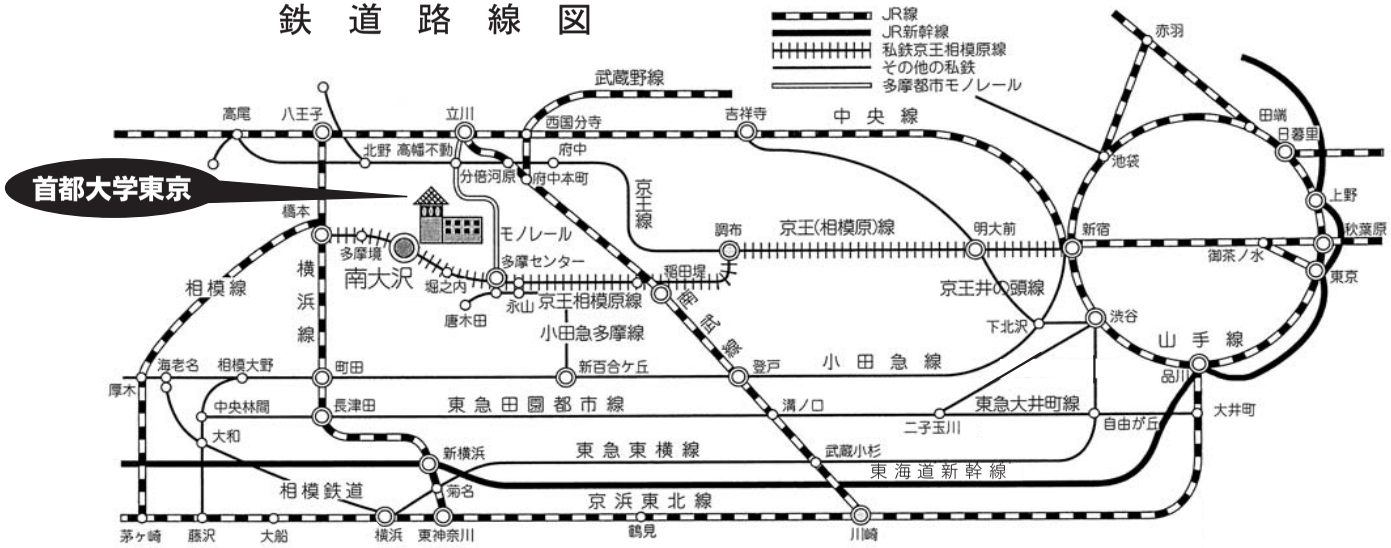
（但し、12：30～13：30 を除きます。）

平成 28 年 5 月発行

発行：首都大学東京大学院都市環境科学研究科　〒192-0397　東京都八王子市南大沢１－１

首都大学東京南大沢キャンパス案内図

＊京王相模原線　南大沢駅下車（駅から「試験会場の掲示場所」まで徒歩で約15分かかります。）



鉄　道　路　線　図